



## 異業種要素を 掛け合わせた設計が強み

(株)ディープラス一級建築士事務所

新福 貴法 社長



古賀市出身。1980年2月4日生まれの39歳。九州共立大学工学部建築学科卒。趣味はバスケットボール、飲食店巡り

「お客様とその先のエンドユーザーのことまで考え、視野を広く持つことで期待を上回る空間づくりを心掛けている」と話すのは(株)ディープラス一級建築士事務所(福岡市中央区薬院3丁目)の新福貴法社長。福岡・長崎・

熊本を中心に、一級建築士事務所とデザイン会社、施工会社の機能をワンストップで提供しており、コスト削減やスピーディな対応とともに、厚みや仕様などの細かな部分までデザイナーの意図通りに施工できるといふ。特定業種に特化するデザイン

会社が多い中、オフィスや飲食店、美容室、クリニックなどあえてジャンルを絞らず、それぞれの良さを融合させた設計を強みとする。「人気店舗デザイン年鑑2018」に掲載したもつ鍋店「一藤博多店」では若い女性客を取り込み、発信力を強化したいとの要望から、和モダンでスタイリッシュな店舗をデザインした。床には美容室でよく使われるジグザグ模様のヘリンボン張りを使用するなど、全体の1割から2割に異業種の要素を取り入れたという。近年、HPやSNSを頻繁に更新することでブランディングにも力を入れる。今年からは自社でオリジナル家具の開発を始め、現在試作品を製作中。デザイナー性を高くし、まずは業態を問わずに使用できる家具から始めていくという。

今後については「ファンを増やし、まずは福岡での認知度を高めていきたい。また、良い人材の受け入れに向け採用も強化し、4年後の売上高は2.5倍の10億円を目指す」と将来を見据えた。